【別紙】

１．令和元年度美浜区利用状況報告

前年度比較で、美浜区全体としては、減少傾向にある。
延べ利用回数については微減であるものの、利用人数は万単位で減少している。これは、一回当たりの利用人数が減少していることを反映したもので、メンバーが高齢化により脱会するなどでサークルの構成員数、さらにはサークルそのものが減少する状況によるものである。
図書室の利用状況については、登録者数・貸出者数・貸出冊数ともに、やや減少している。そこで、古かったり、痛んだりした図書を積極的に除籍し、新規購入図書を倍増させて、利用者のニーズに応えるように努めた。
また、稲浜公民館が、別館廃止に伴い利用人数や利用回数を大きく減少させたことも、区全体の減少の要因となった。
今後に向けて、施設の修繕や劣化した備品等の更新を引き続き積極的に進め、来館者が今まで以上に利用しやすい公民館となるよう維持管理を行うとともに、工夫に富む魅力ある主催事業を各公民館で企画し実施していく。

２．令和元年度事業成果と令和２年度事業計画について

	公民館名	令和元年度事業成果	令和２年度運営方針	令和２年度事業計画 重点項目・特色	前年度からの改善点
1	稲浜公民館	地域で活躍する方を講師として主催講座を開催するとともに、地元の社会福祉協議会との連携事業を実施するなどして、より地域に根差した活動を展開することができた。	「子どもの居場所づくり」という視点を踏まえて、子どもたちに安心して過ごせる場を提供するとともに、学校や家庭にも、公民館の存在を広報し、利活用を図る。	事業数については、一昨年度より増やしてきているので、連続講座を増やすなどして内容面の充実を図るとともに、主催講座の中から、サークル活動を生み出すことができるように参加者を支援していきたい。	幅広い年代の地域住民に公民館に足を運んでいただけるように、「夏休みファミリーコンサート」や「新春落語会」を企画した。
2	幕張西公民館	陶芸への関心を目指した親子陶芸教室や小学生の食育の関心を目指した「パクパクキッチン」を行うなど、地域住民のニーズに合った講座を継続的に実施することができた。また、公民館活動の様子を公民館だよりに掲載して情報発信に努めた。	地域に愛される公民館、必要とされる公民館を目指し、特に家庭にこもりがちな若年主婦層や成人男子の参加を図る。	パラリンピックの実施年を踏まえ、障碍者理解の講座を重点実施するとともに、運営方針を踏まえ成人男子や高齢者、ファミリーで参加できる講座の充実を図る予定。	成年男子の参加を狙った講座の実施や親子講座の実施など幅広い年代、対象の参加を講座を企画した。
3	磯辺公民館	主催事業については、家庭教育「2～5才児親子体操教室」において、土曜日開催のため、参加しやすかったとの声が聞かれた。また、視覚障害の方も参加し、開催意義を感じるものとなった。成人教育では「のびのびゆらゆら健康体操」の講座後、有志によるサークル化の声が上がり、「ゆらゆら体操」の名で活動が継続している。「中世都市千葉を探る」は募集したが、新型コロナウイルスの影響で開催中止となった。公民館図書室の運営では、蔵書数が、古い本を適切に除籍したことにより前年度より減となった。利用者数については、前年度と大きな変化は見られなかった。	家庭教育、少年教育、成人教育の大きくは３つのライフステージを中心に充実を図る。	「こどもの土曜日」や「夏休みこども教室」等、少年教育事業を充実させると共に、「人生１００年」を意識した成人教育事業のひとつ「知って得するくらしの情報」を２回に分けて実施することとした。また「ピラティス教室」を１回実施から３回実施することで、健康意識の向上と日常における手軽な実践へとつなげられるよう体験教室の回数を増やした。	アンケートの結果や講座直後の参加者の生の声を生かし、希望の多かった健康教室と成人関係教室の教室回数を増やした。
4	幸町公民館	平成30年度に比べ実施事業を2事業増加させた。また、アンケートで開催要望のあった「文学講座」や「コケ玉作り」などの新規事業を実施し多数の参加があった。さらに、千葉市精神保健福祉課と連携した「精神障害のある方と共に」の講演会を企画し、現代的課題に対応した事業も取り入れた。	全体的に利用者が減少傾向にあるため利用者の減少を抑え増加方向への転換を図る。	事業数の増加を図る（少年教育1）、行政からの共催事業開催依頼についても積極的に取り入れる。	少年向けスポーツ教室を開催することにより学校休業期間中の子どもの居場所づくりを拡充する。
5	高浜公民館	「つどい・まなび・つなぐ」を意識した事業の展開で、「陰ヨガ」「吊るし飾り」のサークル化が実現できた。継続的な公民館利用が促され、また新しい利用者が増えることで、公民館の活性化にもつながった。	公民館をを中心に地域・サークル間の繋がりを密にして、集いやすい公民館を目指す。以前より子供の居場所となっているロビーをより充実したスペースにしていく。	複数回講座の企画で、サーク化を目指し、利用者を増やす。	幅広い年代層に来館していただけるよう、コンサートや小学生(保護者同伴)講座を増やした。
6	打瀬公民館	打瀬公民館職員が講師を務める主催講座を２つ実施し、マンパワーを発揮することができた。社協や認知症を考える会と連携して「地域連携講座」を企画実施した。また、地域の広報紙やポスター、ホームページによる情報提供に努めた。	事業の質を高め利用者の満足度上昇を図る。	成人教育および少年教育を前年度からそれぞれ4事業増やした。少年教育講座については、希望者の多かった夏休み体験教室を午前・午後、上学年・下学年に分別し質を高める。	アンケート結果を基に希望の多かった調理系の講座を増やした。また、実力・人気の高いサークル講師と連携し講座を開設した。